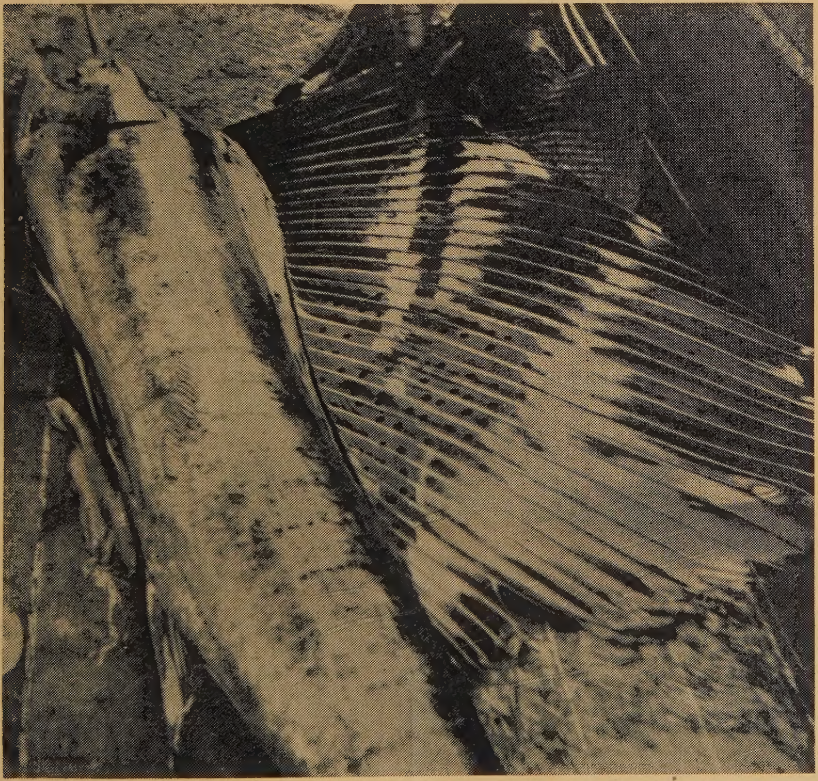
Oct 56

鮪漁業

Tuna Fishing



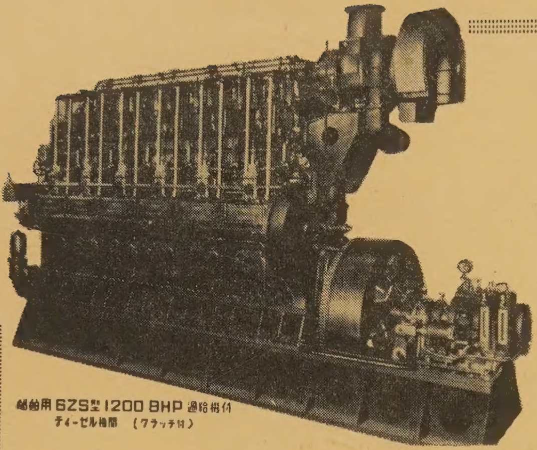
―ばしようかじきの素晴らしい背鰭―

APR 1958
LIBRARY

THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNAFISHERY
JAPAN

鮪漁業　研究会

No. 40, 1957



船舶用 6ZS型 1200 BHP 過給機付
ディーゼル機関 （クラッチ付）

ハンシン
ディーゼル

陸船用ディーゼル

50 HP——2400 HP

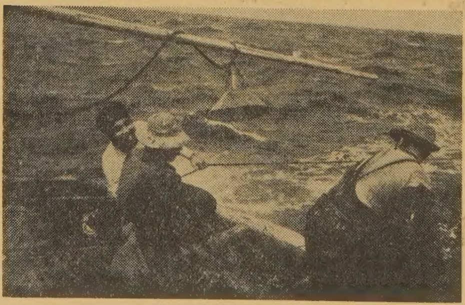
阪神内燃機工業株式会社

本社　神戸市長田区一番町3丁目1　電話 湊川（5）1531—6
東京支店　東京都千代田区丸ノ内・丸ビル601区　電話和田倉（20）3640—1
下関出張所　下関市豊前田町・第一ビル内　電話 下関 768

倉敷
ビニロン

クレモナ 万漁

鮪延縄◆ロープ◆漁網



クレモナ鮪延縄　神奈川水試江の島丸

くさらない
使いやすい
値も安い

倉敷レイヨン株式会社

本社　大阪市北区梅田2（第一生命ビル）
東京事務所　東京都中央区日本橋室町2の4

―目次―

鮪漁船紹介　桜島丸　第三十一宝幸丸

鮪漁場図　（昭和31年10月操業）

三崎他二港の水揚調査を主体とする遠洋鮪漁業の考察（昭和31年10月現況）……1

  1. 調査の概況……1

  2. 漁況の概要……1

  3. 各漁場の漁況……2

月別，漁場別，鮪類漁獲調査表（昭和31年10月操業分）別表 1……8

月別，漁場別，鮪類体長組成表（昭和31年10月操業分）別表 2……10

鮪類漁場別価格　昭和32年2月（三崎）……農林事務官 佐藤 務…17

マグロの外部形態の比較について（承前其の四）…東京大学　檜山研究室　鉄　健司…21

鮪類標識放流について……22

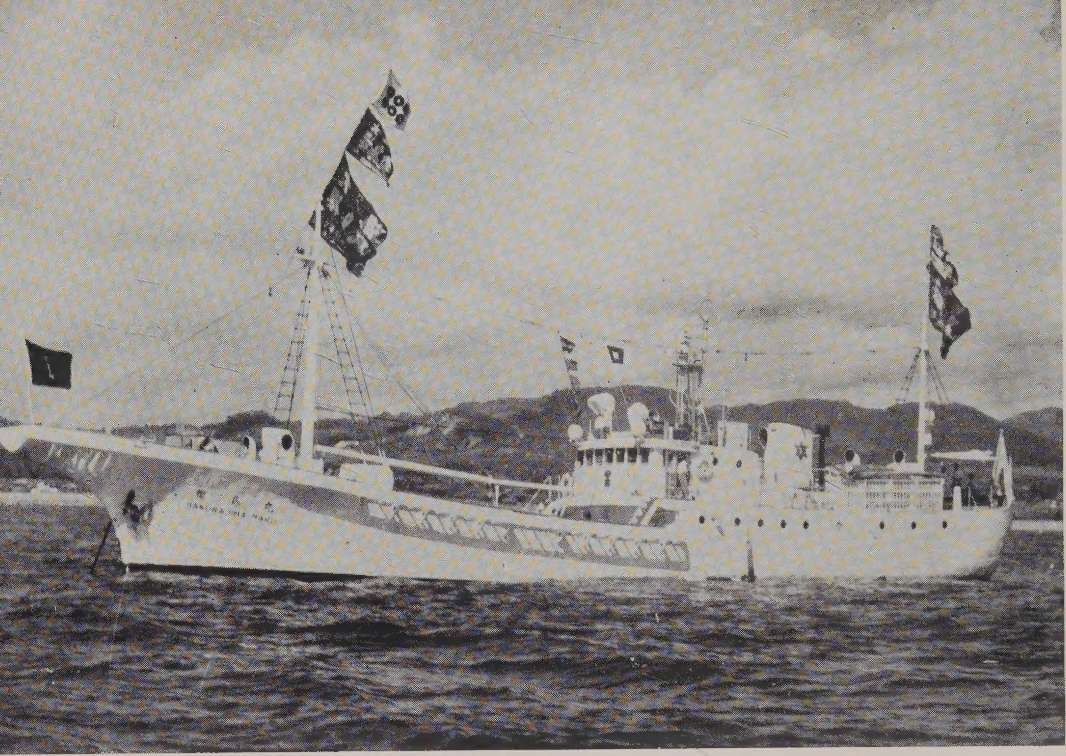
本会の図書誌の分譲其の他について……23

強くて・安くて・腐らない

鮪延縄に絶対経験と信用のあるメーカー

クレモナ
テビロン
国産製麻株式会社

本社　東京都中央区京橋三丁目四番地　電話東京（28）6605・6606番
工場　栃木県鹿沼市朝日町 電話(鹿沼)242・243番 同上野町 電話(鹿沼) 377番



桜島丸

船主	鹿児島県
造船所	日本鋼管 清水造船所
主要寸法	長 35.00m× 幅6.80m× 深3.40m
総屯数	272.20屯
魚艙容積	150m³
燃料油艙	118.82m³
速力	最大 11.00節
主機	デーゼル 500HP 1基
補機	デーゼル 65HP 1基
無線	150W．50W 各1基
冷凍装置	フレオン直膨式 MA—4－F₂ 電動30HP 1基
レーダー，電動測深機，音響測深器， ヘルショー油圧操舵機其の他	各1式
竣工	昭和31年8月17日

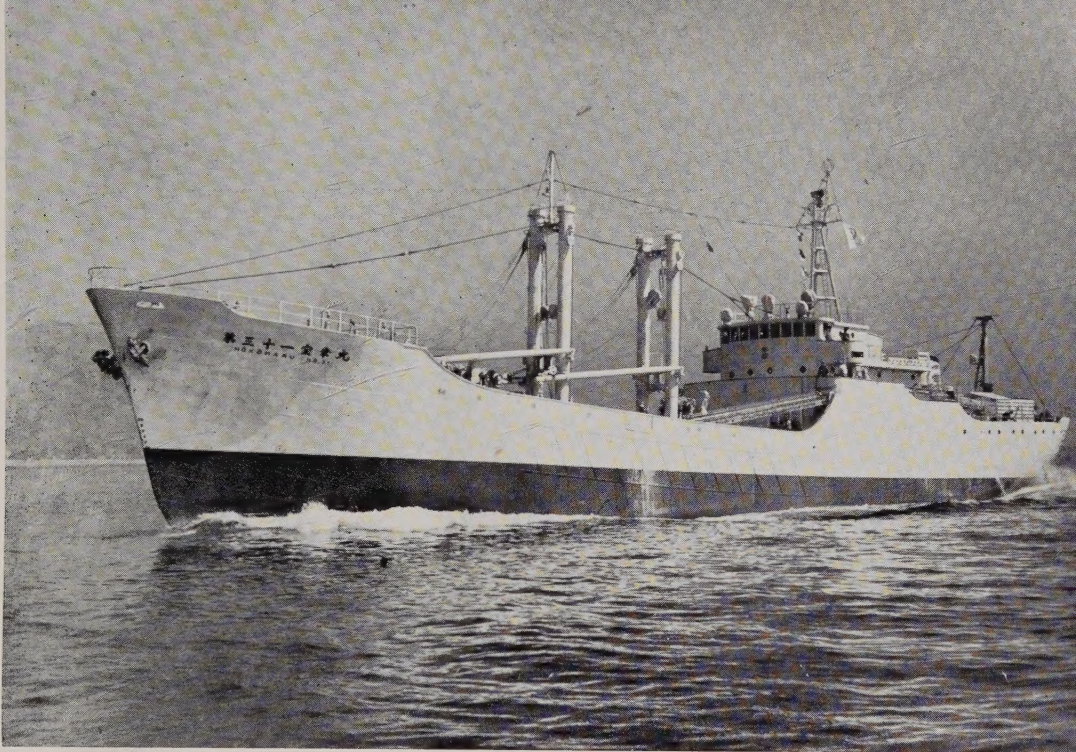
赤阪デイーゼル
各種漁船，捕鯨船，冷凍運
50馬力ー

株式会社 **赤阪**

本社 東京都中央区銀座
大阪出張所 大阪市西区奥美町30
工場 静岡県焼津市

日本鋼管株式会社
清水造船所

清水市三保塚間395番地
電話（代表）2014番〜2019番
電略「コウカンシミズ」



第三十一 宝幸丸

船主	宝幸水産株式会社
造船所	株式会社 金指造船所
主要寸法	長 64.70m× 幅11.50m× 深5.30m
総屯数	1.211屯94
魚艙容積	1.469.9m³
燃料油艙	442.9m³
速力	最大 13.742節
主機	デーゼル 1.500HP（過給機付）1基
補機	デーゼル 300HP 2基
無線	500W. 75W. 10W 各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式 100HP 2基 150HP 1基
レーダー，ローラン，方向探知機，音響兼魚探機 其の他	各1式
搭載艇	魚艇，救命艇， 各1隻， 乗員 81名
竣工	昭和32年 4 月13日

株式会社 **三保造船所**

本社 静岡県清水市三保 3766 電話 代表 2200
東京事務所 東京都中央区八重洲 3 の 7 東京建物ビル705 電話（27）5522.6775

搬船等の主機及び補機に！
4，000馬力

鉄工所

1丁目3番地（千成屋ビル）
電話 京橋（56）4902～3番

電話 新町（53）3602番

電話 焼津（代表）2121～5番

各種鋼製漁船の建造並に修理

株式会社　金指造船所

本社工場　清水市三保4010—19　電話　清水 2380～2
3796～7
塚間工場　清水市三保弁天492　電話　清水 3870～7
東京事務所　東京都港区芝田村町3ノ4　電話　芝(43)7296～8
三崎出張所　三浦市三崎町西野34　電話（三浦）851

漁船の冷凍装置に定評ある

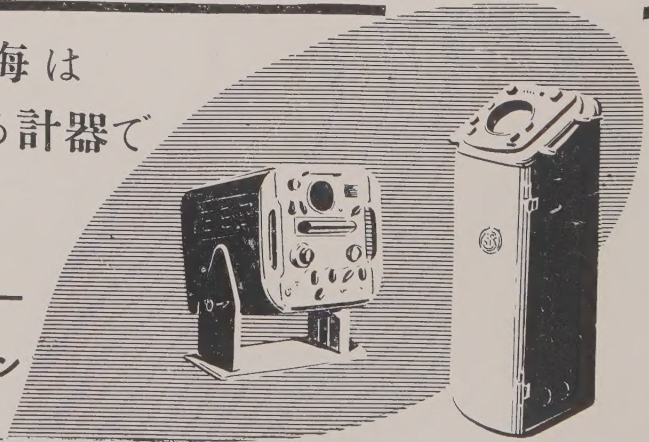
日新興業株式会社

本　社　大阪市北区中之島3の3　（朝日ビル）TEL.北浜（23）9736—7（直通）1334.2351.9531
東京支店　東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）TEL.銀座（57）6804.6810.6811
清水出張所　清水市三保本村四区　TEL.清水　3507
三崎サービスステーション三浦市三崎町西野34　金指造船所三崎出張所内TEL三浦851

施工船名
第31 宝幸丸
第1 水神丸
大盛丸
第18 海王丸
第18 新造丸
秋津丸
（其の他約参百隻）

能率的な航海は
信頼出來る計器で

スペリー式
マリン・レーダー
マリン・ロラン



株式会社東京計器製造所

本社工場　東京都大田区東蒲田4の31　電話（73）2211～9
出張所及びサービスステーション　神戸・函館・長崎・横浜　名古屋・下関

三崎他二港の水揚調査を主体とする遠洋鮪漁業の考察

（昭和31年10月現況）

三崎　鮪漁業研究会　（調査研究部）
神奈川県水産試験場　（資源調査部鮪担当）
東京，焼津　南海区水産研究所　（遠洋資源部）

1 調査の概況

昭和31年10月分として調査した鮪延繩船数は119隻，体長測定船数は85，調査海区数は20で，調査した船数も，海区数も，7月以降の漸増を続けている．

2 漁況の概要

（キハダ）

ハワイ南西，同南東海区の5°N以北は低下過程，以南はなお好漁，タヒチ海区は不漁，旧南洋庁沿海南部は最盛，ソロモン海区のニューギニヤ北方は極めて高率，10°S以北，170°E以東は不漁，15°S線西端クツクタウン沖は好漁，ニューカレドニヤ海区は不漁で25°S線では西よりに好漁，東部印度洋105°E以東は不漁，中部印度洋は上昇に転ずるもなお不漁，西部印度洋は更に低下して極めて不漁，西部太平洋亜熱帯海区も不漁である．

（メバチ）

30°N線，160°～140°Wでは上昇過程，ハワイ南西，南東海区5°N以北は不漁期，以南は好漁期であるが釣獲率は同南東海区5°N以北が最高，旧南洋庁沿海南部の130°～150°Eは不漁，150°～160°Eと170°～180°Eは変化なく，160°～170°Eは上昇し始め，東部印度洋は小スンダチモール沿海10°S以北が不漁，ジヤワ沿海10°S以北が好漁，両海区とも10°S以南は昭和30年と全く異つている．

中部印度洋は比較的好漁，西部印度洋は最盛であるが，赤道以北よりは低い．北部太平洋30°N以北は好漁である．

（ビンナガ）

北部太平洋は来游中，ソロモン海区は不漁，ニューカレドニヤ海区はなお好漁，東部印度洋105°E以東は不漁，中，西部印度洋の10°S以北は不漁，以南は好漁で極めて高率である．

（インドマグロ）

東部印度洋のインドマグロは最盛である．

（クロカワ）

太平洋の赤道以北は好漁，赤道以南は不漁，但し，西部太平洋亜熱帯海区は既に不漁，東部印度洋105°E以東の12°S以北は不漁，以南は漸増過程，中，西部印度洋海区は不漁である．

（シロカワ）

ソロモン，ニューカレドニヤ海区15°S線西端のクツクタウン沖で非常に好漁，東部印度洋は不漁である．

（マカジキ）

北部太平洋30°N以北は好漁，ニューカレドニヤ海区の26°S，157°E附近の小範囲で好漁，小スンダ，チモール沿海も好漁，中部印度洋も最盛である．

（メカジキ）

北部太平洋40°N，173°E附近で極めて好漁である．

3 各漁場の漁況

A 180°～140°W，20°N以北の漁場

（30°～40°N，180°の140°W海域，ミッドウエー海区，20°～30°N，160°～140°Wの海域）

此の海域では，37°N，180°～175°E附近で2隻，30°～31°N，170°～160°Wで2隻，その直ぐ南の29°N，177°W附近で1隻，26°N，180°W近くで1隻，30°N線の南北の160°～153°W附近で15隻，26N，157°W附近で1隻が調査されている．

海流は33°N，134°Wで西，30°N，140°Wでは東，その直ぐ北の31°Nでは西流がみられる．30°N線の148°W附近では東流傾向，157°～152°Wでは30°N以北では北流，以南では西乃至西南，27°N，171°Wでは西流である．（漁場図参照）。

（メバチ）

メバチが35°N以北，170°W以西の海域に少く，30°N線の160°W以東に多い点は，周知の傾向と変化ないが，どの海域も6月以降の漸増をたどり，上昇過程にある．又，釣獲率は20°～30°N，160°～140°Wの海域2.45，30°～40°N，180°～140°Wの海域1.75，ミッドウエー海区0.99で，160°W以西は以東より低率である．最高率を示すのは翌年1，2月頃と思われる．

体長組成は，20°～30°N，160°～140°Wの海域とミッドウエー海区は変化なく，91～100cmと111～120cmに小さな山，141～150cmに大きな山があるが，30°～40°N，180°～140°Wの海域は大きな山が151～160cmに移り，稍大きくなつている．

（ビンナガ）

35°N以北，170°W以西の海域では，9月から増え始め，10月も略同率，30°N線の170W以東に全くみられないのは従来と同様である．

体長組成は，111～120cmのモードのあつた9月より型が小さくなり，101～110cmにモードがあるが，昭和30年の9，11月の91～100cmにモードのあつた組成より，両月とも型が大きい．

（マカジキ）

30°N線南北，160°W以東のマカジキは9月の最高率期を過ぎて低下し始めたが，なお極めて好漁である．

体長組成は，141～150cmにモードのある船と，131～140cmと151～160cmにモードのある船とあり，9月より型は大きい．

B 180°～140°W，0°～20°Nの漁場

（ハワイ南東海区5°N以北，ハワイ南西海区5°N以北，同海区5°N以南）

此の海域では，5°N線附近の180°～173°Wで4隻，163°W附近で1隻，153°W附近で3隻が調査されている．但し，180°～170°W操業の内の1隻は旧南洋庁沿海南部に於いても操業している．

（キハダ）

ハワイ南東海区5°N以北とハワイ南西海区5°N以北は夏季の高率からの低下過程にあり，特に9月2.35の高率を呈した南東海区5°N以北は0.71と激減した．此れに対し，ハワイ南西海区5°N以南はなお高率を続け2.19を示して居り，不漁期に入るのは11月頃となろう．

体長組成は9月と変化なく，141～150cmにモードのある南東海区の方が131～140cmにある南西海区より型が大きい．

（メバチ）

メバチが，キハダと逆に，5°N以南より以北の方が著しく多い事は周知のところであるが，同じ緯

度内では南西海区より南東海区の方が高率である．南西海区 5°N以北は春季の好漁期から低下して来て最低率0.93となり，南西海区5°N以南は上昇期で此の海区としては既に好漁となつたが 5°N以北とは大差なく1.30，南東海区は上昇し始めでなお不漁期であるが周囲の海域よりは著しく高く 2.01を呈している．3.0以上の好漁期に入るのは12月頃と思われる．

メバチの体長組成も9月と略同様で141〜150cmにモードのある南西海区よりも151〜160cmにモードのある南東海区の方が型が大きい．

（クロカワ）

南西海区は5°N以南は全く減じ，5°N以北も8，9月の最高率から激減して 0.47となつたが，南東海区5°N以北は更に上昇して1.09となつた．此の高率は，150°W以東に於いて操業した船にのみみられる点から注意する必要があり，155°W以西のみで操業した船の結果では，漸減の過程にあり，0.79となつている．

体長組成は，クロカワも同様9月と変化なく，161〜170cmにモードのある南西海区より171〜180cmにモードのある南東海区の方が型が大きい．

C 180°〜140°W，赤道以南の漁場

（タヒチ海区）

調査された船は15°S，144°W附近で1隻，20°S，140°W附近で1隻，19°S，145°W附近で1隻，海流は，147°〜146°Wの16°〜19°Sで南流がみられる他は全般的に西流で，18°〜20°S，142°〜139°Wでは西流乃至南西流，16°S，142°W附近で西流，16°〜18°S，148°〜145°W では西北西乃至南西の流れを呈している．

（キハダ）

上昇し始めで未だ不漁，釣獲率2.0に達するのは1又は2月，最高の3.0に達するのは3又は 4月頃と思われる．

体長組成は，141〜150cmにモードがあり，昭和30年12月と全く同型である．

（ビンナガ）

釣獲率は比較的高く2.39を呈しているが，変化の傾向は不明である．

体長組成はキハダと同様30年12月と同型で，91〜100cmにモードがある．

（クロカワ）

1.94と極めて高い釣獲率を呈したが，10月に既に此の高率を呈する現象は，昭和30年の傾向とは全く異り，又，以西諸海域にもみられない．此れは，昭和 30 年には 150°W以西で調査されたのに対し，31年10月は150°W以東で調査されて居り，ハワイ南東海区に於いてみられた傾向と同様なので，150W以東が以西よりも多い事を示しているものの様である．

体長組成も昭和30年と異り，171〜180cmの山の他に191〜200cmの山があり，又，此の山は以西海域にもみられていないので，150W以東のクロカワは，191〜200cmにモードをもつ魚体と考えられる．

（マカジキ）

15°〜19°Sの145°〜138°Wで操業した2隻は極めて僅かであるが，同緯度間を 148°〜145°W で操業した1隻は0.22を呈している．トンガ海区は11，12月に0.5〜0.8にまで上昇するので，此の海区も多少増えるかもしれない．

体長組成はトンガ海区にみられる191〜200cmの山はタヒチ海区では極めて小なく，トンガ海区にはみられない151〜160cmの山によつて殆んどが占められて居り，著しく異つている．

D 旧南洋庁沿海漁場

（旧南洋庁沿海北部，同沿海南部170°E以西，同沿海南部170°E以東）

旧南洋庁沿海北部では，152°E の北端で西部太平洋亜熱帯海区にかけて 1 隻が調査されているが，此の資料中には，旧南洋庁沿海南部で操業した4回の資料も含まれている ので， 説明の際考慮する．旧南洋庁沿海南部では 130°～140°E の 5°N以北で2隻，赤道附近の 140°E 線で 2隻， 155°E の5°N附近で2隻，9°N，168°E附近で1隻，170°～180°E で6隻， B節で記した様に180°E 線の東西にわたつて1隻が調査されている．

7°N線の175°～180°E の海流は東，9°N，174°E では西，11°N，171°E でも西流である．

（キ　ハ　ダ）

南洋南部5°N以北は，170°E以西が8月から上昇して来て 1.30, 以東が7月から低下して来て0.55, 此れに対して 5°N 以南は周知の如く以北より遥かに高率であるが， 170°E 以西は既に最盛期に入つて4.80に激増，以東は4月以降低下して来たが7月から一旦停帯して同率を続け2.10を示している． 以西は，11月に低下しても当分3.0以下には下らず，以東は12月頃に向かい低下してゆく様である．

体長組成は従来と同様東方程型が大きいが170°E以西の組成は稍小さくなつている．

（メ　バ　チ）

南洋北部は不漁期で低率，南洋南部は，130°～140°Eは5°N以北，以南共に 6 月から低下して来て不漁，140°～150°の5N以南は6月から低下して来て稍上昇し始めたが不漁，150°～160°E の 5°N以北は8月から稍上昇したが殆んど変化なく，5°N以南も従来と異つて6月以降変化がない． 160°～170°E の5°N以北は，冬季から低下して来て9月頃から上昇し始め， 170°～180°Eは5° N以北， 以南共に殆んど変化がない．但し，以北の7月の高率2.0に注意する必要がある．各海域の釣獲率は表1に示す．

表1　旧南洋庁沿海南部メバチの漁況（31.10）

	130°E～140°E	140°E～150°E	150°E～160°E	160°E～170°E	170°E～180°
10°N～5°N	0.40		1.30	0.80	1.15
5°N～0°	0.15	0.30	0.75		0.50

体長組成はキハダと同様東の方が型が大きい．

（ク ロ カ ワ）

どの海域も好漁期であるが，周知の如く5°N以南はあまり高率ではない．5°N以北は 170°E 以西，以東共に好漁で高率を呈している． 南洋北部のクロカワは全尾数南洋南部の魚体であるから注意が必要である ．

E　ソロモン，ニユーカレドニヤ海区漁場

（ソロモン海区，ニユーカレドニヤ海区）

ソロモン海区は1°S，142°Eのニユーギニヤ北側で1隻，1°S，172°Eのギルバート南西で 1隻，コーラルシーの13～14°S線西端のクツクタウン沖で1隻， ニユーカレドニヤ海区では， クツクタウン沖の稍南方16°S線で3隻，15°S，155°Eで1隻，26°～28°Sの西端ブリスベーン沖で 2 隻が調査されている．

海流は，ニユーブリテン島とニユーギニアの間では南東流であるが， その流れは稍南東に下がると東流に転じ，クツクタウン沖では沿岸に沿つて南流から東南東の流れ， ブリスベーン沖では主として南流がみられる（漁場図参照）．

（キ　ハ　ダ）

10°S以北，170°E以西は非常な高率 5.05を示しているが． 此れは， 昭和29年以降晩秋の不漁期にみられる特異な率の様である．10°S以北，170°E以東は6月から低下して不漁に入り1.40，10°S 以南のソロモン海区は西端のクツクタウン沖で非常に釣れ好漁期に入り2.30を呈している．

ニユーカレドニヤ海区は不漁期であるが上昇し始めて居り1.40，27°S線では160°E以西に多い．

ニユーカレドニヤ海区の体長組成は8月から出現し始めた111～120cmの山は変化がないが，141～150cmの山は131～140cmに移り，稍型が小さくなつている．

（メバチ）

此の海区にメバチの少い事は周知のところであるが，ソロモン海区では上昇寸前にあるので，11月には1.0位にはなるであろう．

（ビンナガ）

ソロモン海区は不漁期に入り10°S以南も0.25と低率，但し，此れは西端のクツクタウン沖で操業した結果であり，同じく13°S線でも153°Eでは此れ程不漁ではなく未だ分布している．ニユーカレドニヤ海区は，やはり西北端のクツクタウン近くでは少く0.20，その他の海域は2.65で，7月より低下して来たがなお高率である．

体長組成は91～100cmにモードがあり，昭和30年9，11月と同形であるが，31年8月のブリスベーン沖だけの81～90cmにモードのある組成より型が大きく，又，10月でも，ブリスベーン沖の組成は81～90cmにモードがあり，同緯度160°～163°Eの組成は91～100ccmにモードがある．

（クロカワ）

不漁期で10°S以南とニユーカレドニヤ海区は極めて低率，10°S以北は変化が少く0.3を呈している．

（その他のカジキ類）

15°S，145°E附近でシロカワが2.06の高率を呈し，26°S，157°E附近でマカジキが0.73の率を呈している．前者は間もなく消滅し，後者は11月頃1.0に達する．

F　東部印度洋漁場

（小スンダ，チモール沿海，ジヤワ沿海）

ジヤワ沿海ではジヤワ西端沖で1隻，小スンダ，チモール沿海では115°～120°Eで11隻が調査されている．

（キハダ）

両海区のどの海域も6，又は7月からの低下をたどり極めて不漁である．

（メバチ）

小スンダ，チモール沿海の10°S以南は7月からの低下をたどつて極めて不漁，ジヤワ沿海10°S以北はなお漸増をたどつて2.50と高率，11月からは低下に転ずると思われる．10°S以南は0.6～0.7で昭和30年と異つている．

（ビンナガ）

両海区とも6月以降の低下をたどつて全くの不漁，昭和32年2月頃まで皆無に近い不漁が続くであろう．

（インドマグロ）

小スンダ，チモール沿海は最盛期で3.35，ジヤワ沿海も最盛期であるが12°Sの南北の差が小スンダ，チモール沿海より大きく，以北の2.70に対し以南は5.89の高率である．体長組成は30年と差がない．

（カジキ類）

クロカワは12°S以北は極めて不漁，12°S以南の小スンダ，チモール沿海は0.28，ジヤワ沿海0.45で，6，7月頃からの漸増を続けている．

シロカワは全般的に不漁期に入り，マカジキは最盛期に入つたが両海区間の差は大きく，ジヤワ沿海は0.09であるが小スンダ，チモール沿海は0.64を呈している．

マカジキの体長組成は，昭和30年10月に比較すると，171〜180cmの山は変りないが，141〜150cmの山が151〜160cmに移つて型が稍大きくなつている．

G　中,西部印度洋漁場

（中部印度洋海区，西部印度洋海区）

中部印度洋海区では5°〜10°S，71°〜74°Eで2隻，内1隻は11°S，85°E附近でも5回操業して居り，西部印度洋海区では5°〜7°S，66°〜67°Eで2隻，3°S，51°E，4°S，54°E，9°S，55°Eの各附近で1隻ずつ調査されている．

海流は7°S，59°Eで南西，10°S，55°〜56°Eで南南西，8°S，53°Eで西南西，又，3°〜6°S，50°〜57°Eの海域では西，2°〜5°S，43°〜47°Eでは北流がみられる（漁場図参照）．

（キハダ）

中部印度洋海区は，3月から9月までの低下から急激に上昇に転じ，8月と略同率の4.11を呈している．昭和32年3月にかけ上昇の見込み．西部印度洋海区は，1月からの低下を5月から9月にかけて停帯した後，再び低下して4.98に到つた．しかし，此の内10°S以南でも操業した1隻が3.11の低率なので，此れを除くと5.62を示す．

体長組成は，中部印度洋海区は141〜150cmにモードがあつて昭和30年10月より型が大きい．西部印度洋海区は9月から型が小さくなりモードが131〜140cmにあつて，30年10月と同形である．

（メバチ）

中部印度洋海区は変化が不明であるが此の海区としては比較的高く1.12，西部印度洋海区は最盛期であるが赤道以北に比べれば低く1.36である．

体長組成は両海区とも141〜150cmにのみモードがあり，111〜120cmにもモードのあつた昭和30年10月，31年9月とは異つている．

（ビンナガ）

両海区とも10°S以北は不漁期で全くの低率であるが，西部印度洋海区の10°S以南は4.70で極めて高く，9月よりも更に上昇している．中部印度洋海区も10°S以南は0.82で以北の皆無に比較すればかなり高率である．

（クロカワ）

中部印度洋海区は8，9月より稍上昇しているが未だ不漁で0.26，西部印度洋海区は7月からの低下をたどつて0.19である．

体長組成は，最盛期の4月に比較して，中部印度洋海区は231〜240cmのモードが消滅し，西部印度洋海区は三つのモード全体が小型方向へと移つて，型が小さくなつている．

（マカジキ）

中部印度洋のマカジキは最盛期に入つて0.44を呈している．

H　北部太平洋漁場

（40°〜45°N，150°〜180°Eの海域，35°〜40°N，150°〜180°Eの海域，東北海区，西部太平洋亜熱帯海区）

40°〜45°N，150°〜180°Eの海域は35°Eの40°N線で1隻，35°〜40°Nでは150°〜160°Eで12隻，160°〜170°Eで15隻，170°〜180°Eで10隻，東北海区で1隻，西部太平洋亜熱帯海区では30°N線の155°Eで1隻，20°〜23°N，144°〜147°Eで5隻が調査されている．

海流は，35°N，153°〜155°E及び30°N，153°〜155°Eで南乃至南々東，35°N．151°Eで南東，その間及び38°N，158°Eは北東，その西側が北西である他は，35°〜38°N帯は155°〜170°E全般的に東流であるが，35°〜36°N．175°〜177°Eには西乃至北西流がみられる．（漁場図参照）．

（キハダ）

西部太平洋亜熱帯海区のキハダは，9月からの低下を続けて不漁期に入り極めて低率である．

（メバチ）

35°〜40°N，150°〜180°E の海域は9月より僅かに低下したがなお好漁期で高率であり，東北海区も上記海域の近くで操業しているのでやはり此の海区としては高率であるが，150°E以東に比べれば著しく低く0.50を呈している．西部太平洋亜熱帯海区も，30°N線では極めて高率で2.29，20°N線では0.55で上昇し始めている．

体長組成は南北で殆んど差がないが35°〜40°N，150°〜180°Eで141〜150cmにある山は西部太平洋亜熱帯海区では151〜160cmに移つている．又，35°〜40°N，150°〜180°Eでは，昭和30年10月に111〜120cmにあつた型の小さい方の山が，31年10月には91〜100cmに移つている．

（ビンナガ）

東北東から来游して来ている魚群は35°〜40°Nでは160°E附近にまで達した．釣獲率も東方から次第に上昇し，35°〜40°N，150°〜180°Eの海域では平均0.98となつた．

体長組成は昭和30年10月と同形である．

（カジキ類）

西部太平洋亜熱帯海区のクロカワは7月以降の低下をたどつて0.16で不漁，マカジキは28°N線附近の収斂線以北から38°N附近にかけて全般的に好漁で，35°〜40°N，150°〜180°Eの海域は0.59，西部太平洋亜熱帯海区155°Eの30°N線でも0.40を呈している．メカジキは40°N．173°〜175°Eで1.75の高率をあげている．11月以降好漁期に入るが，昭和30年10月の0.92に比べて著しく高い．

メカジキの体長組成は，昭和30年10月の組成の151〜160cmの山の他に191〜200cmの山が増えている．

漁船には専門メーカーの
穂高の漁業無線機を

★ 最新の技術と堅牢・高性能を誇る

500W
250W
150W
120W
75W
50W
35W
25W
10W

穂高通信工業株式会社

本社　東京都新宿区下落合1—6　TEL（95）2595・6219
大阪営業所　大阪市西区京町堀上通2—21協栄ビル　TEL（44）5792・4109
東京工場　東京都新宿区下落合1—6　TEL（95）2595・6219
長野工場　長野県南安曇郡穂高町2579　TEL（穂高）61
代理店　小樽・函館・八戸・気仙沼・石巻・塩釜・小名浜・那珂湊・銚子・三崎・清水・焼津・室戸・下関

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表

漁場	操業区域	調査隻数	水温(°c)	流向 流速	操業回数	漁具数	釣数		ま	
									きはだ	めばち
30°— 40°N 180°—140°W	28°— 35°N 168°—148°W	13	21.1 26.5	SSE 0.2 SSW 0.3	357	130,515	554,636	尾数 釣獲率	44 0.01	9725 1.75
ミッドウエー	25°— 31°N 179°—161°W	2	23.5 26.2		48	17,853	79,987		50 0.06	788 0.99
20°— 30°N 160°—140°W	28°— 31°N 162°—147°W	6	22.6 24.3		153	54,699	238,426		68 0.03	5851 2.45
ハワイ南西 (5°N以北)	4°— 19°N 175°—162°W	3	27.2 28.0		75	29,370	128,110		810 0.63	1186 0.93
ハワイ南西 (5°N以南)	3°— 4°N 178°—177°W	1	27.2 28.4		12	4,200	16,800		368 2.19	219 1.30
ハワイ南東 (5°N以北)	5°— 8°N 160°—149°W	3	27.0 28.2		50	17,480	87,400		622 0.71	1761 2.01
タヒチ	15°— 19°S 155°—138°W	3	25.0 26.9	SSE・ENE WSW・W NW	94	39,340	161,980		1499 0.93	492 0.30
旧南洋庁北部	6°— 21°N 152°—176°E	1	27.1 28.4		10	3,500	14,000		16 0.11	71 0.51
旧南洋庁南部 (170°E以西)	5°— 9°N 134°—168°E	7	28.0 30.8		102	32,264	147,288		4113 2.79	974 0.66
旧南洋庁 (170°E以東)	2°— 9°N 175°—179°E	7	28.1 29.1	ENE 1 WNW0.3	153	51,811	243,626		2528 1.04	2180 0.89
ソロモン	1°— 14°S 141°—152°E	3	26.1 29.8		47	16,714	83,570		2668 3.19	236 0.28
ニューカレドニヤ	15°— 27°S 156°—146°E	6	26.8 28.0	WSW1.5 SSE 1.0	116	39,707	185,500		2580 1.39	421 0.23
小スンダチモール	9°— 14°S 113°—121°E	11	26.2 28.4		182	69,446	297,325		2409 0.81	1114 0.37
ジャワ	8°— 13°S 107°—118°E	1	27.0 28.2		17	6,350	31,750		278 0.88	668 2.10
中部印度洋	5°— 10°S 71°— 89°E	2	24.9 26.1		58	24,525	98,100		4035 4.11	1099 1.12
西部印度洋	2°— 10°S 47°— 73°E	5	25.1 27.2	SW 0.5 NW 0.5 WSW 0.6	172	67,078	291,662		14516 4.98	3974 1.36
40°— 45°N 150°—180°E	29°— 41°N 171°—175°E	1	16.0 18.5		28	7,785	38,925			28 0.07
35°— 40°N 150°—180°E	34°— 38°N 151°—177°E	37	18.4 22.1 22.4	NW 0.5 NE 1.0	763	196,999	864,760		349 0.04	5953 0.69
東北海区	36°— 40°N 148°—150°E	1	19.9 23.2		10	12,000	36,000		3 0.08	18 0.50
西部太平洋	19°— 32°N 144°—157°E	6	28.7 29.1		93	23,525	98,095		329 0.34	1182 1.30
計	20	119			2539	845,161	3,697,940		37285 1.01	37940 1.03

(昭和31年10月操業分)

(別表 1)

ぐ ろ子			か じ き					かつお	雑	さめ	計	記事
びんなが	黒まぐろ	いんど鮪	くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう					
566	3		448	5	1306	76		19	514	477	13183	サメ未調査 6
0.10	0.00		0.08	0.00	0.24	0.01		0.00	0.09	0.09	2.37	体測隻数 12
15			154		90	6	5	20	170	121	1419	0
0.02			0.19		0.11	0.01	0.01	0.03	0.21	0.15	1.79	1
4			318	6	883	5	1		378	40	7554	3
0.00			0.13	0.00	0.37	0.00	0.00		0.16	0.02	3.16	6
8			602	5	15	4	30		239	110	3009	2
0.01			0.47	0.00	0.01	0.00	0.02		0.19	0.09	2.35	1
1			48	1		2					639	0
0.00			0.29	0.00		0.01					3.79	0
6			952	5	15	18	20	21	41	154	3615	2
0.01			1.09	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.18	4.14	2
3864			3145	15	203	23	3		39		9283	3
2.39			1.94	0.01	0.13	0.01	0.00		0.02		5.73	3
2			25		2	1	2				119	1
0.01			0.18		0.01	0.01	0.01				0.84	0
12			873	10	1	22	108		24	3	1640	6
0.01			0.59	0.01	0.00	0.01	0.07		0.01	0.00	4.15	6
7			1405	7	13	14	32	105	219	396	6906	5
0.00			0.58	0.00	0.00	0.01	0.01	0.04	0.09	0.16	2.82	5
113			171	739	11	9	44		22		4013	3
0.13			0.20	0.88	0.01	0.01	0.05		0.02		4.77	3
3151			73	3004	407	97	20		57	8	9818	5
1.69			0.04	1.62	0.22	0.05	0.01		0.03	0.00	5.28	4
1089		9964	636	710	1914	73	28	17	88	221	18263	10
0.37		3.35	0.21	0.24	0,64	0.02	0.01	0.00	0.03	0.07	6.12	11
13		142	9	84	29	2					1225	1
0.04		0.45	0.03	0.26	0.09	0.01					3.86	0
382			253	126	439	73	122				6529	2
0.39			0.26	0.13	0.44	0.07	0.12				6.64	2
1485			562	216	402	149	104		75	87	21570	3
0.51			0.19	0.07	0.14	0.05	0.04		0.03	0.03	7.40	4
					2	680				17	727	0
					0.00	1.75				0.04	1.86	0
8489	15		246	7	5171	1039	12	25	437	4534	26277	5
0.98	0.00		0.03	0.00	0.59	0.13	0.00	0.00	0.05	0.52	3.02	30
6					7				1	39	74	0
0.17					0.19				0.03	1.08	2.05	0
44			157		157	5	4	3	207	400	2488	2
0.04			0.16		0.16	0.01	0.00	0.05	0.21	0.40	2.62	6
19257	18	10106	10077	4940	11067	2298	535	210	2511	6607	142851	59
0.52	0.0	0.27	0.27	0.13	0.30	0.06	0.01	0.01	0.07	0.18	3.87	85

月別、漁場別、鮪類体長組成表（昭和31年10月操業分）

（別表2）

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数		50 cm 以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171 cm 以上	計	漁獲尾数
きはだ	5	30°—40°N 180°—140°W	31°—35°N 176°—161°W	123	尾数 %								1 2.8	9 25.0	11 30.5	9 25.0	2 5.5	3 8.3	1 2.8	36 100	40
	1	ミッドウェー	25°—31°N 179°—169°W	22						2 6.1	1 3.0	1 3.0	7 21.2	17 51.5	2 6.1	2 6.1	1 3.0			33 100	33
	2	20°—30°N 160°—140°W	28°—31°N 162°—147°W	59											1 33.3		1 33.3		1 33.3	3 100	3
	1	ハワイ南西 (5°N以北)	4°—19°N 172°—162°W	24								5 3.4	7 4.7	41 27.7	56 37.8	34 22.9	5 3.4			148 100	153
	2	ハワイ南東 (5°N以北)	5°—8°N 157°—149°W	36								2 0.9	7 3.0	8 3.5	51 22.1	89 38.7	69 30.0	4 1.8		230 100	443
	2	タヒチ	15°—19°S 145°—138°W	61									1 0.3	3 1.0	38 12.5	156 51.5	93 30.7	12 4.0		303 100	1158
	3	旧南洋庁南部 (170°E以西)	5°—10°N 134°—168°E	51			2 0.5	3 0.7	6 1.4	3 0.7	3 0.7	116 26.9	187 43.5	69 16.0	38 8.8	3 0.7				430 100	919
	2	旧南洋庁南部 (170°E以東)	5°—7°N 175°E—179°W	49								6 1.1	33 4.4	154 29.3	290 55.3	49 9.3	2 0.3	1 0.2		525 100	973
	3	ニューカレドニア	14°—16°S 145°—154°E	53						6 2.9	4 1.9	5 2.4	52 25.1	38 18.4	51 24.6	41 19.8	9 4.3	1 0.4		207 100	1049
	1	小スンダチモール	12°—13°S 115°—118°E	18								4 1.8	35 15.9	102 46.3	55 25.0	23 10.4	1 0.4			220 100	1091
	1	中部印度洋	7°—10°S 73°—89°E	27									5 2.9	13 7.6	52 30.2	77 44.8	25 14.5			172 100	2045
	3	西部印度洋	2°—8°S 45°—73°E	119					5 1.1	7 1.6	12 2.7	67 15.3	70 16.1	83 18.9	132 30.1	61 13.9	1 0.2			438 100	9103
	25	35°—40°N 150°—180°E	35°—38°N 154°—158°E	514				1 0.4		1 0.4	1 0.4	3 1.7	13 5.6	42 18.0	77 33.0	70 30.0	24 10.3	1 0.4		233 100	237
	1	西部太平洋	21°—22°N 145°—146°E	12					4 10.0				16 40.0	18 45.0	2 5.0					40 100	42

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	60 cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181 cm以上	計	漁獲尾数
めばち	5	20°— 30°N	28°— 31°N	133				4	141	110	262	40	42	248	194	97	35	7	1180	4959
		160°—140°W	162°—147°W					0.2	11.9	9.3	22.2	2.4	3.6	21.0	16.8	8.2	2.9	0.6	100	
	12	30°— 40°N	28°— 39°N	333			2	7	188	149	185	38	34	279	311	130	40	11	1374	9569
		180°—140°W	178°—148°W				0.1	0.5	13.7	10.8	13.5	2.8	2.5	20.3	22.6	9.4	2.9	0.8	100	
	2	ハワイ南東	5°— 8°N	36				2	4	5	50	50	73	91	116	74	42	34	541	1437
		(50°N以北)	156°—149°W					0.4	0.7	0.9	9.2	9.2	13.5	16.8	21.4	13·6	7.7	6.2	100	
	1	ハワイ南西	4°— 19°N	24				2	6	12	15	18	16	29	18	10	7	8	141	291
		(50°N以北)	172°—162°W					1.4	4.3	8.5	10.6	12.8	11.3	20.6	12.8	7.1	4.7	5.7	100	
	1	ミッド	25°— 31°N	22		4		3		1	123	13	12	41	26	14	2	3	142	391
		ウエー	179°—169°W			2.8		2.1		0.7	16.2	9.2	8.4	28.8	18.3	9.8	1.4	2.1	100	
	2	タヒチ	15°— 19°S	62						2		6	6	26	29	23	11	1	104	259
			145°—138°W							1.9		5.8	5.8	25.0	27.8	22.1	10.5	1.0	100	
	3	ニュー	14°— 16°S	53				1	7	4	3	4	4	12	9	12	2		58	172
		カレドニヤ	145°—154°E					1.7	12.1	6.8	5.2	6.8	6.8	20.6	15.5	20.6	3.4		100	
	2	旧南洋庁南部	5°— 7°N	49			1	20	13	35	44	45	67	94	54	11	6		390	770
		(170°E以東)	175°E-179°W				0.2	6.1	3.3	8.9	11.2	11.5	17.1	24.1	13.8	2.8	1.5		100	
	3	旧南洋庁南部	5°— 10°N	51	1		1	19	21	54	48	63	56	42	6	3			314	708
		(170°E以西)	134°—168°E		0.3		0.3	6.1	6.7	17.2	15.3	20.1	17.8	13.4	1.9	1.0			100	
	1	小スンダ	12°— 13°S	18					3	2	8	5	9	5	2	5			39	137
		チモール	115°—118°E						7.6	5.1	20.5	12.8	23.0	12.8	5.1	12.8			100	
	1	中部印度洋	7°— 10°S	27				1		4	1	8	12	14	7				47	462
			73°— 89°E					2.1		8.5	2.1	17·0	25.0	29.7	14.9				100	
	3	西部印度洋	2°— 8°S	119			3	13	53	54	63	75	36	35	4				336	2889
			45°— 73°E				0.9	3.9	15.8	15.9	18·8	22.3	10.7	10.4	1.1				100	
	29	35°— 40°N	35°— 38°N	617		3	2	95	589	511	272	25	224	492	175	150	70	30	2638	4813
		150°—180°E	154°—158°E			0.1	0.1	3.6	22.3	19.4	10.3	0.9	8.5	18.7	6.6	5.7	2·7	1.1	100	
	2	西部太平洋	21°— 32°N	38		4	1	13	24	12	26	8	7	29	41	17	13	1	196	892
			145°—157°E			2.0	0.5	6.6	12.2	6.1	13.3	4.1	3.6	14.8	20.9	8.6	6.6	0.5	100	

魚種	測定船數	漁場	操業位置	操業回數		40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121cm以上					計	漁獲尾数
びんなが	1	20°—30°N 160°—140°W	28°—31°N 162°—147°W	35	尾数 %									1 50.0	1 50.0					2 100	3
	6	30°—40 N 180°—140°W	31°—35°N 176°—161°W	150							3 1.9	50 32.7	51 33.3	46 30.0	3 1.9					153 100	233
	1	ミッドウエイ	25°—31°N 179°—169°W	22								2 40.0		3 60.0						5 100	11
	2	タヒチ	15°—19°S 145°—138°W	62							8 12.7	36 57.1	18 28.5	1 1.0						63 100	2688
	2	ニューカレドニヤ	14°—23°S 146°—163°E	41							64 33.5	108 56.5	19 9.9							191 100	923
	2	旧南洋庁南部 （170°E以西）	4°—8°N 152°—159°E	33							6 66.7	1 11.1	1 11.1	1 11.1						9 100	9
	27	35°—40°N 150°—180°E	35°—38°N 154°—158°E	558					1 0.1	74 4.7	777 49.3	373 23.7	251 15.9	99 6.3	1 0.1					1576 100	5550
	2	西部太洋洋	21°—32°N 145°—157°E	38							16 44.4	14 38.8	4 11·1	2 5.6						36 100	36

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	計	漁獲尾数
いんど鮪	5	小スンダ チモール	10°—13°S 113°—126°E	80			13 1.6	187 23.6	313 39.4	233 29.3	48 6.0								794 100	3772
黒まぐろ	4	35°—40°N 150°—180°E	33°—37°N 171°—175°E	97								1 12.5	1 12.5	5 62.5	1 12.5				8 100	8

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数		130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251—260	261cm以上	計	漁獲尾数
く	5	20°—30°N 160°—140°W	28°—34°N 162°—147°W	133	尾数 %	4 2.7	1 0.6	2 1.3	2 1.3	4 2.7	5 3.3	6 4.0	20 13·3	23 15.3	23 15.3	24 16.0	15 10.0	12 8.0	5 3.3	4 2.7	150 100	278
	11	30°—40°N 180°—140°W	29°—38°N 172°—148°W	302					1 0.4	7 2.6	6 2.2	14 5.2	36 13.5	75 28.1	48 18.0	27 10.1	21 7.9	17 6.4	9 3.4	6 2.2	267 100	399
	2	ハワイ南東 （5°N以北）	5°—6°N 160°—149°W	36		1 0.3	4 1.3	4 1.3	10 3.3	52 17.1	94 30.9	64 21.0	29 9.5	11 3.6	11 3.6	9 3.0	4 1.3	5 1.6	6 1.9		304 100	755

ろかわ	3	タヒチ	15°—19°S 155°—138°W	93				4 0.8	17 3.2	99 28.9	148 28.2	171 32.6	33 6.2	13 2.4	7 1.3	8 1.5	7 1.3	5 1.0	12 2.2	524 100	3145
	1	ミッドウェー	25°—31°N 179°—169°W	22	2 2.9	3 4.4	1 1.4	7 10.3	5 7.3		4 5.8	10 14.7	12 17.6	11 16.1	7 10.3	3 4.4	2 2.9		1 1.4	68 100	106
	1	ハワイ南西 (5°N以北)	4°—19°N 172°—162°W	24		2 1.7	8 6.7	15 12.6	36 30.3	22 18.4	7 5.9	5 4.2	8 6.7	7 5.9	4 3.4	5 4·2				119 100	167
	2	ニューカレドニヤ	14°—27°S 146°—157°E	48					1 5.5	1 5.5			4 22·2	7 38.8	1 5.5	2 11.1		1 5.5	1 5.5	18 100	43
	4	旧南洋庁南部 (170°E以東)	4°—10°N 157°—177°E	89	10 1.7	39 6.9	84 14.8	93 16.4	121 21.3	44 7.8	25 4.4	45 7.9	36 6·3	35 6.1	17 3.0	7 1.2	4 0.7	7 1.2		567 100	662
	6	旧南洋庁南部 (170°E以西)	2°—9°N 134°—168°E	86	6 1.1	48 8.7	110 19.9	126 22.8	132 23.9	21 3.8	18 3.3	25 4.5	18 3.3	11 1.9	3 0.5	2 0.3	1 0.1		1 0.1	552 100	762
	10	小スンダチモール	10°—14°S 113°—126°E	173				8 2.6	82 27.0	79 26.1	63 20.7	34 16.7	8 2.6	9 3.0	9 3.0	5 1.7	2 0.7	2 0.7	2 0.7	303 100	570
	3	ソロモン	6°N—14°S 141°—174°E	47	6 4.5	14 10.5	22 16.5	23 17.3	26 19.5	7 5.3	12 9.0	9 6.7	5 3.8	3 2.3	3 2.3		1 0.8		2 1.6	133 100	171
	2	中部印度洋	5°—9°S 71°—89°E	58			1 0.5		17 9.7	21 12.0	39 22.2	17 9.7	14 8·0	20 11.4	19 10.9	14 8.0	6 3.4	4 2.3	3 1.7	175 100	253
	3	西部印度洋	4°—8°S 45°—58°E	119			3 5.0	4 6.7	6 10.0	4 6.7	6 10.0	10 16.7	6 10.0	2 3.3	7 11.6	5 8.3	1 1.6	3 5.0	3 5.0	60 100	373
	28	35°—40°N 150°—180°W	34°—38°N 150°—174°E	580					11 5.7	14 7.1	15 7.6	22 11.2	40 20.3	46 23.4	23 11.7	10 5.0	6 3.0	3 1.5	7 3.6	197 100	209
	4	西部太平洋	19°—32°N 144°—157°E	65	2 2.7	2 2.7	19 25.3	10 13.3	10 13.3	2 2.7	3 4.0	8 10.6	3 4.0	7 9.3	7 9.3	1 1.3		1 1.3		75 100	102

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251—260	261cm以上	計	漁獲尾数
し	2	30°—40°N 180°—140°W	31°—38°N 178°—151°W	50						1 50.0						1 50.0				2 1000	2
	4	20°—30°N 160°—140°W	27°—30°N 168°—147°W	109		1 25.0					1 25.0					1 25.0	1 25.0			4 100	4
	1	ハワイ南東	5°—6°N 156°—149°W	16						1 25.0								2 75.0		3 100	3
	3	旧南洋庁南部 (170°E以西)	1°—8°N 134°—156°W	44			1 16.7					1 16.7	2 3.33	1 16.7			1 16.7			6 100	6

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130 cm 以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251—260	261 cm 以上	計	漁獲尾数
ろ	1	旧南洋庁南部 (170°E以東)	2°— 8°N 157°—177°E	26					1 1000											1 100	1
か	3	ソロモン	1°— 13°S 141°—174°E	47			2 1.4	8 5.5	9 6.2	17 11.7	21 14.4	22 15.2	15 10.3	11 7.5	9 6.2	10 6.9	3 2.1	2 1.4	16 11.0	145 100	739
	4	ニューカレドニヤ	15°— 27°S 145°—157°E	76			8 1.6	25 5.1	60 12.2	77 15.6	80 16.2	55 11.2	59 11.9	28 5.7	23 4.7	23 4.7	10 2.0	11 2.2	34 6.8	493 100	1792
	10	小スンダ チモール	9°— 14°S 108°—118°E	173	11 2.8	88 22.6	132 33.9	30 7.7	26 6.6	25 6.4	16 4.1	17 4.3	22 5.7	5 1.3	8 2.1	4 11.0	4 1.0		1 0.3	389 100	688
わ	2	中部印度洋	5°— 10°S 71°— 89°E	57				1 1.7	2 3.3	2 3.3	8 13.3	15 25.0	12 20.0	11 17.3	4 6.6	3 5.0	2 3.3	1 1.7		60 100	126
	3	西部印度洋	2°— 8°S 45°— 58°E	119					5 6.9	10 13.8	13 18.0	18 25·0	7 9.7	8 11.1	6 8.3	3 4.1			2 2.7	72 100	111
	5	35°— 40°N 150°—180°E	33°— 38°N 152°—164°E	107					1 20.0	1 20.0	2 40.0								1 20.0	5 100	5

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	100 cm 以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231 cm 以上	計	漁獲尾数
ま	12	30°— 40°N 180°—140°W	31°— 38°N 176°—151°W	333				17 2.6	217 32.8	162 24.5	170 25.7	26 3.9	36 5.4	27 4.1	5 0.7	1 0.2				661 100	1272
	1	ミッドウエイ	25°— 31°N 179°—169°W	22			1 2.3	3 6.9	18 41.8	14 32.5	4 9.3	1 2.3	1 2.3	1 2.3						43 100	43
	5	20°—90° N 160°—140°W	27°— 34°N 170°—147°W	133				5 1.2	132 33.0	152 38.0	78 19.5	14 13.5	7 1.8	9 2.3	3 0.8					400 100	754
	1	ハワイ南西 (5°N以北)	4°— 19°N 172°—162°W	24					4 28.6	2 14.3	4 28.6	1 7.1		2 14.3			1 7.1			14 100	14
	1	ハワイ南東 (5°N以北)	5°— 6°N 156°—149°W	16										1 50.0		1 50.0				2 100	6
か	3	タヒチ	15°— 19°S 155°—139°W	93					5 3.1	44 27.7	51 32.1	13 8.3	3 1.9	12 7.5	13 8.3	12 7.5	3 1.9	3 1.9		159 100	203
	3	旧南洋庁南部 (170°E以東)	4°— 10°N 151°—177°E	66					1 14.2		1 14.2	2 28.5	2 28.5	1 14.2						7 100	8

じ	1	ソロモン	13°—14°S 146°—152°E	18											2 20.0	6 6.00	1 10.0	1 10.0		10 100	11
	2	ニューカレドニヤ	14°—23°S 146°—163°E	48								1 3.1		19 6.0	93 29.5	139 44.1	43 13.7	20 6.3		315 100	340
	10	小スンダチモール	9°—14°S 113°—119°E	173		2 0.2	1 0.1	32 3.4	114 12.1	78 8.3	147 15.6	130 13.8	213 22.6	153 16.2	64 6.8	8 1.9				942 100	1809
	2	中部印度洋	5°—10°S 71°—89°E	58						1 0.5	6 3.2	16 8.6	53 28.4	60 32.3	44 23.6	5 2.7	1 0.5			186 100	439
き	3	西部印度洋	4°—8°S 45°—73°E	119					1 1.1		6 6.9	14 15.2	28 30.4	35 38.0	8 8.7					92 100	267
	27	35°—40°N 150°—180°E	33°—38°N 149°—177°E	566			1 0.2	33 8.5	611 15.8	787 20.4	1554 14.0	394 10.2	333 8.6	131 3.4	16 4.1	2 0.5				3862 100	3983
	3	西部太平洋	19°—32°N 144°—157°E	53				3 3.7	26 32.0	17 20.9	25 30.8	2 2.4	6 7.4	2 2.4						81 100	155

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	80cm以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201cm以上		計	漁獲尾数
	7	30°—40°N 180°—140°W	31°—38°N 176°—151°W	182		1 2.8	3 8.6	1 2.8	2 5.7	1 2.8	9 25.7	3 8.6	6 17.1	4 11.4	2 5.7	1 2.8		2 5.7		35 100	37
	22	ミッドウェイ	35°—31°N 179°—169°W	22					1 16.7		2 33.3		2 33.3					1 16.7		6 100	6
め	2	20°—30°N 160°—140°W	28°—34°N 162°—147°W	59				1 33.3			1 33.3		1 33.3							3 100	4
	1	ハワイ南西 (55N以北)	4°—19°N 172°—162°W	24										1 1000						1 100	1
	1	ハワイ南東 (5°N以北)	5°—6°N 156°—149°W	16								1 25.0				1 25.0	1 25.0	1 25.0		4 100	8
か	4	旧南洋庁南部 (170°E以西)	31°—9°N 134°—168°E	43					1 8.3	1 8.3	5 46.7	1 8.3	3 25.0					1 8.3		12 100	13
	1	旧南洋庁南部 (170°E以東)	2°—8°N 157°—177°E	26			1 14.2			1 14.2	1 14.2	2 28.4	1 14.2		1 14.2					7 100	8
じ	2	ソロモン	6°N—2°S 141°—174°E	29						3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3					1 14.3		7 100	7
	1	ニューカレドニヤ	14°—23°S 146°—163°E	25			1 20.0				1 20.0		2 40.0		1 20.0					5 100	7

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数		80 cm 以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201 cm 以上		計	漁獲尾数
き	5	小スンダ チモール	9°— 14°S 108°—121°E	72	尾数					2	5	9	5	4	4	1	2	1			33	44
					%					6.1	15.2	27.3	15.2	12.1	12.1	3.0	6.1	3.0			100	
	1	中部印度洋	5°— 9°S 71°— 73°E	31						2	5	16	6	9	6	1	4				49	62
										4.1	10.2	32.6	12.2	18.4	12.2	2.0	8.1				100	
	1	西部印度洋	5°— 8°S 47°— 73°E	40							4	2	3	2	1	1	1				14	26
											28.6	14.2	21.4	14.2	7.1	7.1	7.1				100	
	28	35°— 40°N 150°—180°E	33°— 38°N 149°—177°E	594				10	2	21	27	50	56	96	101	52	41	43	45		544	1006
								1.8	0.4	3.9	5.0	9.2	10.3	17.6	18.6	9.6	7.5	7.9	8.2		100	
	3	西部太平洋	19°— 22°N 144°—146°E	39					1			1			1						3	4
									33.3			33.3			33.3						100	

鮪類漁場別價格　昭和32年2月（三崎）

農林省神奈川統計調査事務所三崎駐在所
農林事務官　佐藤務

水揚船及び水揚量の構成

今月の鮪類は鮪延縄と若干の「竿ビン」（延縄兼用を含む）、突棒によつて水揚された。水揚數は鮪延縄が67隻（50屯以上）、「竿ビン」が13隻（50屯以上）、突棒が9隻（10屯以上）であり、これらの漁船による總水揚量は約130万〆（冷凍物、直送物を除く）で、これは先月より6万〆少いだけで、2月の水揚量としては記錄的なもので昨年2月の水揚量を2割方上廻つた。

イ、屯數階層別、操業漁場別（鮪延縄50屯以上）

水揚を行つた鮪延縄船を屯數階層別でみると、大型船（300屯以上）18隻、中型船（200—299屯）11隻、小型船（50—199屯）38隻で、昨年2月に較べると大型船は同じ、中型船は4隻、小型船は13隻とそれぞれ增加となつている。

操業漁場別では小型船主体の南太平洋が最も多くて32隻（旧南洋庁沿海南部26隻、ニユーカレドニヤ．ソロモン6隻）で、水揚船の過半に近く、次いでインド洋の27隻（西部8隻、中印7隻、東印12隻）がある。この他では南東太平洋が3隻（タヒチ北方2隻、140° W 以東1隻）、東太平洋2隻、近海3隻があるが、今月は南太平洋とインド洋操業で殆どが占められ、昨年あつた北太平洋操業船は今年は皆無であつた。

大型船ではその殆どがインド洋であるが一頃のように西印に限られず、中印そして東印操業もかなりみられる。インド洋の他ではハワイ南東海区の南と東（昨年あたりより東寄り）の南東太平洋やソロモン操業船が1—2隻ある。中型船では東印操業が多く、他はニユーカレドニヤ．ソロモン．タヒチ北方操業である。小型船にあつては旧南洋庁沿海南部操業が過半數を占め、これに次いでは東印操業が比較的多く、東太平洋、近海操業が2—3隻となつている。昨年2月と比較してみると大型船では中、東印操業船の增加、140°W以東の進出、小型船では舊南洋庁沿海南部操業船の增加等が目立つている。

今月の漁場別水揚量はインド洋62万〆、南太平洋45万〆、南東太平洋16万〆、東太平洋3万〆、近海1万〆で、昨年2月よりインド洋、南太平洋はかなりの增加をみ、南東太平洋は若干の減少となつている（昨年2月はハワイ南東0°以南操業船が今年より多かつた）

ロ、魚種別

主な魚種別水揚量はキハダ55万〆、クロカワ（シロカワを含む）26万〆、メバチ21万〆、インドマグロ9万〆、ビンナガ6万〆、マカジキ4万〆、でこの他に「竿ビン」のビンナガ2万〆强、突棒のマカジキ3千〆弱がある。昨年2月と較べインドマグロの8万〆增、メバチ．キハダの各々5万〆增が目立つている。

魚價概況

主要魚五種の中〆當り平均價格300円を割つたのはキハダのみで、他は300円台を維持しているがキハダは勿論他の魚種もビンナガを除き先月比1割内外の値下りをみているが、昨年2月の價格と比較してみると次のような結果となる（今月は北太平洋がないので東、南、南東太平洋、インド洋四漁場の合計の魚種別比較）。

ビンナガ—今月315円で141円安
メバチ—306円で6円安
キハダ—286円で8円安
マカジキ—312円で20円高
クロカワ—335円で24円高

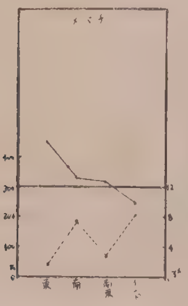
こゝ暫くビンナガ（時としてマカジキ）を除き概ね昨年比1割内外の高値を示してきた鮪類の價格が、今月に到りメバチ．キハダが昨年比安値となつたことは注目される。これは昨年2月が殊の外価格がよかつたのでもなく（30年．31年共価格は概ね同じ）例年に較べ水揚量が多かつたことも一因として擧げられようが、メバチでは比較的安いインド物の占め2割合が昨年より多かつたこと、そしてキハダでは南太平洋物の昨年比値下りが主因として考えられる。魚種別の昨年比では以上の通りであるが先月比（四漁場の合計）でみると

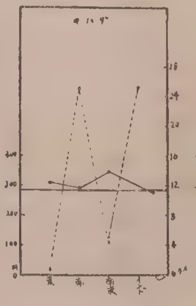
ビンナガ—1円安
メバチ—18円高
キハダ—33円安
マカジキ—27円安
クロカワ—31円安

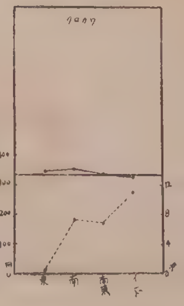
で、こゝで奇異に考えられるのはメバチの先月比高値であるが、これは先月よりインド物の安いメバチの占める割合が少なかつた（先月4漁場合計の6割强、今月4割强）ことゝ、東太平洋物に肉質良好で高値のものがかなり多かつたゝめと考えられる（漁場別に比較してみると東太平洋を除きいづれも先月比安値である）

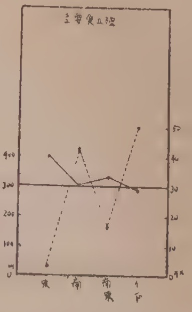
前記主要魚五種を合計した漁場別價格の先月比では（北太平洋はない）

東太平洋—85円高
南太平洋—36円安









◇新時代の冷凍機◇

（高速多気筒）

ダイヤ冷凍機

（新三菱重工製）

漁船船舶冷凍装置・製氷冷蔵凍結施設

設計・製作・施工

株式会社 東洋製作所

本社・工場　東京都品川区東品川5の61
電話大崎（49）代表2173—7番（49）6004番 営業部直通
営業所　大阪市北区棄田町47（新阪神ビル）
電話福島（45）4914（直通）9231—5（内線372）

光電の方探

Kodenのロラン

株式会社 光電製作所

東京都品川区上大崎長者丸284の1
電話白金（44）代表1131～7番

Koden Electronics Co. Ltd.

新工場落成量産開始

太洋無線が世界に誇る

各種 陸上用 航空機用 船舶用

自動方向探知機

太洋無線株式会社

東京都渋谷区衆楽町48番地
電話渋谷（46）代表5283—9番

まぐろ延縄には漁材科学の生んだ

比重調整と樹脂加工を併用した延縄

アサヒテツクスロープを御使用下さい

特徴
① コールタール染不要
② 着色自由 ③ 比重の適正
④ あらゆるロープの中で耐久耐摩耗力は一番すぐれております。

アサヒテツクスロープ株式会社

本社 東京都三鷹市下連雀四〇〇番地 電話武蔵野3978番
出張所 神奈川県三浦市三崎町花暮一四四番地 電話三浦957番

※ 説明資料は当鮪漁業研究会に御申込下さい ※

南東太平洋— 6円安
インド洋—19円安

となり、キハダの値下りの大きかつた南太平洋が最も差が甚しく140° W東西の大キハダの高値に恵まれた南東が最も値下りが少ない。そして東太平洋にあつては全体の水揚量（東太平洋の）も少い上に、中旬良質のメバチの多量の水揚があつて先月比逆にかなりの値上りとなつた。

漁場別、魚種別価格（第1—3圖參照）

メバチ——量的には少いが今まで比較的安値であつた東が、前述にもある通り良質物があつて價格は最もよい。南と南東では南東の大メバチがさほど値が冴えなかつたためか南の方が若干高値となつた。インドはひとり300円台を大きく割り、昨年比46円安と大きな下落となつている。しかし南と南東にあつては水揚減で比較的高値の下旬に水揚が多かつたゝめか、昨年と略々同値である。東は今年特異？なものといえようがかなりの値上りである。インドの昨年比大巾値下りは、水揚多量のため比較的魚價の安かつた月の前半に、このインドの水揚が多かつたことに一因はあらう。因みに下旬の價格では300円を僅かに切れる程度であつた（昨年2月より4月までこのインド物はつねに300円台を前後していた）。先月比ではインド9円安、東86円高、南、南東共10円安である。

キハダ——相變らず南東のキハダは量的には少ないが高値であり、昨年に較べても（漁場は昨年より東へ寄つているが）1割方高値である。南は上中旬水揚多量で安値であつたゝめ、下旬はかなり上伸したが昨年比若干の値下りとなつた。インドも上中旬に水揚が集中しているので昨年比高値とならず5月程度の値下りとなつた。キハダ全体では先月比1割方安くなつているが、漁場別では南の49円安が大きく、インドは23円安、南東は18円安で比較的高値の割に値下りは少く値は堅かつたようだ。

クロカワ——今まで月々の対比では他の鮪類に較べ価格差をさほどみせなかつたクロカワが、今月1割弱の値下りを示したことは前述にもあつた通りであるが、これは魚價の安価であつた上中旬に全く水揚が集中した（就中上旬）ことが最も大きな原因であらう（水揚量は大体先月と同量であり、亦クロカワ．シロカワでクロカワの占める割合も今月は75%で先月も5%上廻つているので先月比若干の値下りでとゞまると考えられた）。クロカワ.シロカワの別でみた昨年比ではクロカワが今月347円で21円高、シロカワ315円で37円高であるが、先月比ではクロカワ33円安シロカワ20円安である。

漁場別の昨年比ではインドが37円高、この他では24円高となつている。圖を見ても分る通りクロカワでは今まで他漁場より価格のやゝよかつたインドが最も安値となつているが、これは前述の上中旬の水揚集中がインド物主体であつたことを肯かせるしたがつて先月比でもインドの値下りが大きく62円であり、東では53円安、南15円安、南東15円安で、量的に少い東を除けばインドと南、南東の値下り率の差は今までになく大きいものとなつた。

こゝに圖示してないが以上三種の外ビンナガとマカジキは

ビンナガ——先月より300円台となり、遠洋延縄による大ビンは今月も300円を割つていないし、先月比では南308円で28圓安、南東305圓で3圓高、インド326円で25円高であり、旬別にみた価格は概ね横這い状態のようである。

マカジキ——インドは堅調であるが南の下落は今月も続き今月あたりはおそらく低値と考えられる程のものである。昨年比ではインド今月は343円で8円安、南では262円で17円安となつている（東、南東は水揚少量）。漁場別を考えないマカジキ全体の昨年比では今年が高値となつているのは、この時期南より値のいゝインド物の占める割合が、昨年より圧倒的に多いためである。（昨年インド物は17%であり今年は57%である）。先月比ではインド26円安、南60円安で南の値下りは一段と大きい。

以上の外では「竿ビン」の小ビンは今月298円で先月比11円安と値下り、突棒マカジキは709円で181円安、近海物の先月比ではメバチ648円で27圓安、メカジキ477圓で68圓安、又インドマグロは266圓で先月比12圓安となつている。

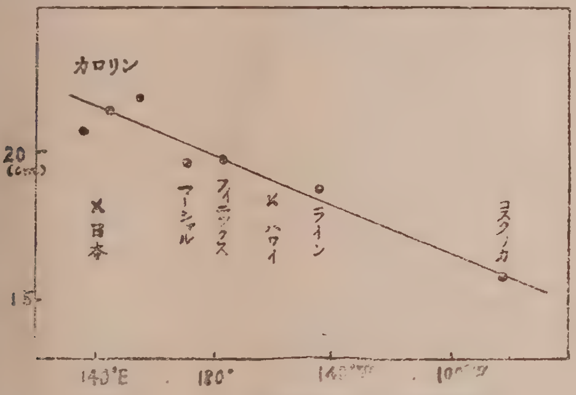
こゝ2、3ヶ月一般の經濟事情の好転でやゝ好調であつた鮪類の価格も、この月は11月と同じく中だるみ時期でもあり、その上水揚多量も手傳つて魚価はあまり冴えなかつたようだ。

※註　漁場分類は10月分参照。この調査では冷凍物、直送物は除いてある。
第4圖は魚種別を考えない漁場別主要漁獲物（ビンナガ.メバチ.キハダ.マカジキ.クロカワ）の合計〆数及び平均單価である。

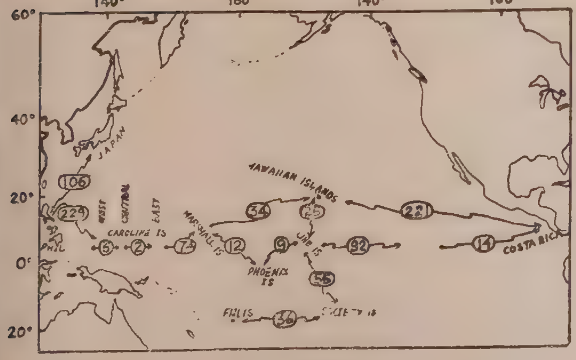
マグロの外部形態の比較について　（承前其の四）

東京大学農学部　檜山研究室　鉄　健　司

つぎに従来の形態調査によつて得られた結果についてのべてみよう．W. F. Royce の報告で最も興味ある点は，太平洋赤道水域産キハダの形態においていくつかの形質にクラインが認められる点である．すなわち頭長，吻・第1背鰭起部，吻・第2背鰭起部，吻・臀鰭起部，体高等といつた形質において太平洋東部のもの程大きく，西のキハダ程小さいことと，胸鰭長，第2背鰭長および臀鰭長といつた形質では，逆に東のキハダ程短いといつた傾向がみとめられること，また赤道水域以外からとられたキハダはこのクラインから著るしくはずれていることを報告している．第10図は第2背鰭長のクラインをなしている様子を図示したものである．



第10図　体長100cmのキハダの第2背鰭長
○：赤道から緯度10度以内，
×：赤道から緯度10度以上離れた標本
（Roycc の第5表より）


140°
180°
140°
100°
60°
40°
20°
0°
20°
JAPAN
106
229
PHIL
WEST
CENTRAL
EAST
CAROLINE IS
5
2
74
MARSHALL IS
12
34
HAWAIIAN ISLANDS
25
221
9
LINE IS
92
14
COSTA RICA
PHOENIX IS
55
FIJIS
36
SOCIETY IS

第11図　太平洋諸水域産キハダのR. C. R. L.

つぎにR．C．R．L．を用いて太平洋諸水域の標本間の親疎関係を第11図に示した，（これはS．S．R. Fesheries. No 116より転写したものである）．このR．C．R．L．の値は小さなもの程形態が類似しており，大きいもの程形態がことなつていることを示している．これにより Royce は赤道水域の標本について西経 120°〜130° とライン諸島のキハダおよびマーシャル水域と東部カロリン水域との間には大きな形態上の差があることが認められた．こうした結果から太平洋赤道上の隣接した水域をのぞいては少くとも半独立した魚群が各水域に存在し．キハダはおそらく産まれた場所から数百浬という比較的せまい範囲内で成長・産卵し死んでいくのではないか．又太平洋の各水域の標本間の差が大西洋等の標本との差よりも大きいことにより同一種が世界中に広く分布しているのではないかと結んでいる．

つぎにM. B. Schaefor による一連の研究についてみてみよう．まず中央アメリカ太平洋岸のキハダと大西洋東部水域アンゴラ（葡領西アフリカ）産のキハダについて，回帰分析によつて比較をおこなつた結果，胸鰭長，第2背鰭長および臀鰭長において，大西洋のキハダは太平洋東部水域のものより長く，そのちがいは成長にともなつて増大すること，頭長，吻・第1背鰭起部，吻・第2背鰭起部，吻・臀鰭起部間起離では回帰係数がいずれも太平洋産のキハダが大きく，体長1米附近で両標本回帰直線は交わつている．従つて体長1米以下のキハダでは大西洋のものが上記形質では大きな値を示し，1米以上のものでは大きさの関係は逆になることがわかつた．以上の形質と他の二，三の形質にもとづいて少くとも大きな体長のキハダでは，こうした二水域のキハダは形態上の諸特性からわけることが可能であるように考えられることを報告している．ついでハワイのキハ

ダと中央アメリカ太平洋岸のキハダの形態の比較をおこない．ハワイのものは，胸鰭長，第2背鰭長，臀鰭長がアメリカ太平洋岸のものより長く，その差は成長にともなつて増大すること，および頭長，吻より各鰭の起部までの距離は逆にアメリカ側のものが大きく，したがつて体の後半部はハワイのものが長くのびていることを認めた．こうした結果からハワイとアメリカ太平洋岸のキハダは，たとえ交流があるとしてもその程度は僅かなもので恐らく両者は独立した系統群であろうと述べている．その後東南ポリネシヤ水域からのキハダの形態測定を行い，さきの太平洋からえられた標本と比較した結果，前記三つの鰭長において，この標本は，ハワイのものよりやや長く，アメリカ側のものより著るしく長いこと，および頭長，吻より各鰭起部までの距離では，ハワイとアメリカ側のキハダの中間的な値を示し，太平洋諸水域にすむキハダは，いくつかの分離した，独立又は半独立した系統群が存在するものと考えられ，それらがどの程度に混合するかは将来に残された課題であり，また従来

大西洋のキハダ ; Neothunnus albacora (Lowe) 1839
太平洋のキハダ ; Neothunnus macropterus (Temminck and Schlegel) 1842
印度洋のキハダ ; Neothunnus argentivittatus (Cuvier and Valenciennes) 1831

と別種として取扱かわれていた各大洋のキハダも，将来印度洋のキハダの形態について多くの情報がえられたときには，さきの太平洋と大西洋のキハダの外部形態における差よりも，同一太平洋内のキハダの外部形態の差が著るしいことから，こうした世界に広く分布するキハダは同一種として取扱うべきであることが示されるかもしれないと述べている．

鶴田教授はギルバート諸島南西沖合の資料では，第2背鰭長および臀鰭長は著るしく長く，又，体軀の後半分の成長の割合が大きく，太平洋西部のものでは東部のものと比較し後半部が長く前半部が短いことを報告し，大スンダ列島南西水域のキハダでは第2背鰭長と臀鰭長は更に長く顕著であり，頭長はアメリカ太平洋岸のキハダと，吻・腹鰭起部までの距離はハワイのキハダと略同一で，相隣接する水域のものよりも，遠隔のハワイやアメリカ側の資料と形態的に類似している点が十分に認められることから，キハダは単一種が世界に広く分布し，各海域に半独立分化した種族が棲息しているとするSchaefer や Godsil の説の妥当性をのべている．

以上で従来のキハダの形態に関する研究報告についての概要を終えることにする．

鮪類標識放流について

1. 昭和32年4月21日から5月31日迄の間に標識の委託をなした船数は1隻（10本）である．
2. 昭和32年4月21日から5月31日迄の間に放流実施の報告のあつた船数は3隻（11尾）である．

放流実施船名及び実施の概要

船　名	標識番号	放年流月日	放流位置	魚　種（尾数）
肥後丸	C 0045	32. 3. 23	7°〜08′N 130°〜23′E	きはだ (1)
1くに丸	C 0186 0187	32. 4. 1	5°〜54′N 81°〜15′E	きはだ (1) しろかわ (1)
宮成丸	C 1001 〜1003 C 1010	32. 4. 16	9°〜49′N 90°〜40′E	きはだ (4)
〃　〃	C 1006 〜1008	32. 3. 30 〜 4. 10	4°〜 8°N 90°〜91°E	きはだ (1) めばち (2)
〃　〃	C 1009	32. 2. 1	7°〜30′N 169°〜25′E	きはだ (1)

本会の図書誌の分譲其の他について

◎本会発行の図書誌を分譲致しておりますから御申込下さい。

会　　誌　【鮪漁業】　第6—40号（第1—5号品切）{第6—28号各100円 郵送料16円 / 第29—40号各150円}

鮪類水揚地調査報告（自昭和27年5月　至昭和28年4月）
1部　300円　（B5判150頁）　郵送料　24円

鮪類水揚地調査報告（自昭和28年5月　至昭和29年3月）
1部　400円　（B5判226頁）　郵送料　40円

鮪類水揚地調査報告（自昭和29年4月　至昭和30年3月）
1部　300円（送料を含む）（B5判126頁）

*上記の昭和28年度、29年度、30年度分3冊一括購入の場合　特価800円（送料共）

漁場天気図（東部印度洋、25°N—25°S　西部太平洋 80°E—150°E）昭和29年8月版
1部　250円　（B3判50枚綴）　郵送料　48円

鮪漁船操業図　（航走距離早見表、鮪類年令対体長体重表刷込）
1枚　50円　郵送料　8円

鮪漁場図　（32海区劃に表示したもの）
10枚　100円　郵送料　16円

——お　願　い——

◎会員各位の鮪漁業に関する調査や研究或は体験、漁具漁法の改良、遭難防止等についての投稿其の他写真を御願いします。

◎本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先を記入の上年間会費1500円（他に会誌送料200円）を添えて研究会宛御申込下さい。

◎本誌に広告掲載希望の方は、本会伊藤専務理事迄御申込下さい。

◎予ねてより取纒中でありました鮪類水揚地調査報告の昭和30年度版は昭和28年度、昭和29年度分と共に鮪漁業教書として関係の方々には是非座右に備付けられるようお薦め致します。御希望の向は代金300円（送料を含む）を添えて本会宛御申込下さい。

◎大変恐縮ですが会費第2年目（昭和30年分）第3年目（昭和31年分）未納の方は本会宛払込送金方（振替貯金口座横浜1472）お願い致します。

鮪　漁　業
1957年6月号

昭和32年6月10日印刷
昭和32年6月10日発行
監　修　神奈川県水産試験場調査部
編集兼発行人　菅野　進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発行所　鮪漁業研究会
（振替貯金口座横浜　1472）

鋼木船造修一般

五百屯船台一基
四百屯船台二基

三崎船舶工業株式会社

神奈川県三浦市三崎港
（電話 三浦 343 番）

諸官庁船・遠洋漁船・御用

創業五十年
最良の品質
最善のサービス
を誇る 株式会社 **安保商店**

▷三崎御入港の節は何卒
御引立の程御願い致します◁

電話 三浦116番

魚問屋水産加工漁業

株式会社 **長谷川広吉商店**

神奈川県三崎港 電話 三浦 三七番

営業種目

船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置
冷房装置・冷凍機械器具
防熱装置・船舶冷凍冷蔵
設計 製作 施工

協同低温工業株式会社

本社 東京都千代田区神田佐久間町河岸58（夏目ビル2階）
電話 下谷（83）0996番

漁船の氷、餌料の仕込は

三崎漁連へ 砕氷設備毎時50屯2基完備

（向ケ崎・花暮岸壁）

凍結能力 日産 一七屯 ——— 冷蔵収容量 六〇〇屯

製氷能力 日産 五〇屯 ——— 貯氷能力 五五〇屯

三崎漁業協同組合連合会（製氷冷凍工場）

会長 寺本正一

神奈川県三浦市三崎港 TEL（三浦）609•655 番

営業品目

漁網・延縄・漁具・製造販売
船具・機械電気用品販売

石油元売

日本漁網船具株式会社

本社　東京ビル六階　電話和田倉(20)代表1841
営業所　下関・函館・大阪・戸畑・長崎　工場　下関
出張所　名古屋・仙台・釧路・小樽　油槽所　川崎・女川・下関

営業品目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造
装備・補修一式

七（ナナ）洋（ヨウ）電（デン）機（キ）株式会社

取締役社長　満本英一
取締役　橋本清
取締役　長田孝
本社　東京都目黒区中目黒4丁目1315番地
電話荏原(78)4103番

綠星社のSV6型**ラジオブイ**
用途；鮪延繩・鮭鱒流網・捕鯨・底曳トロール
漁具流失防止　位置確認　操業時間短縮　等々

株式会社　**緑星社**

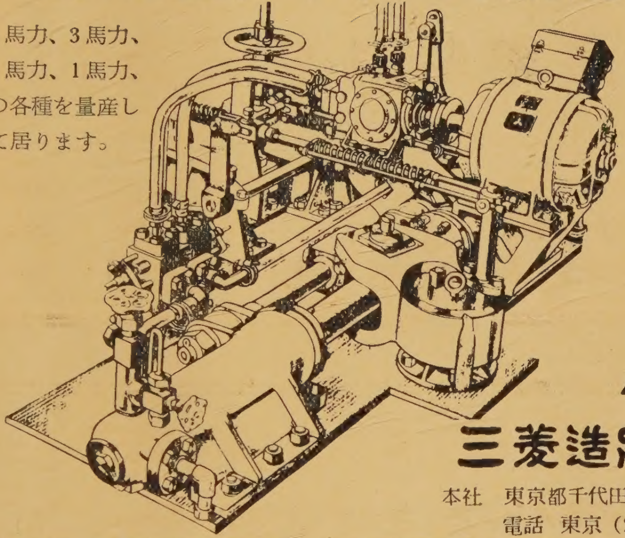
代表取締役　吉田内次

研究所　東京都中央区築地5の1（東京中央卸売市場内）
電話（54）2371
営業所　東京都中央区小田原町2の11　電話（54）7679番
函館出張所　函館市根崎町140

漁船用

三菱小型ジャネー式電動油圧舵取装置

5馬力、3馬力、
2馬力、1馬力、
の各種を量産して居ります。



商船及び艦艇用として多年絶対的信用を博している三菱ジャネー式舵取装置を漁船用として小型化したもので既に数拾台以上が漁船に取付けられ好評を得て居ります。

三菱造船株式會社

本社　東京都千代田区丸ノ内2の4（三菱本館）
電話　東京（28）代表5111．3111．0331

▷最高の技術――永い信用◁

営業種目

VHF新聞通信社用
ビーコン装置
超短波通信機
極超短波通信機
高級無線用測定器
放送施設一式
船舶用無線機
ラジオヒーター
高級無線通信機

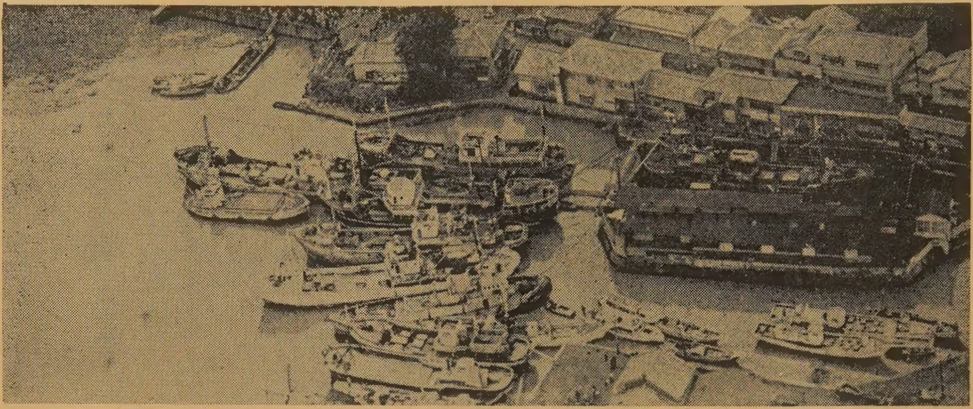
國際電氣株式會社

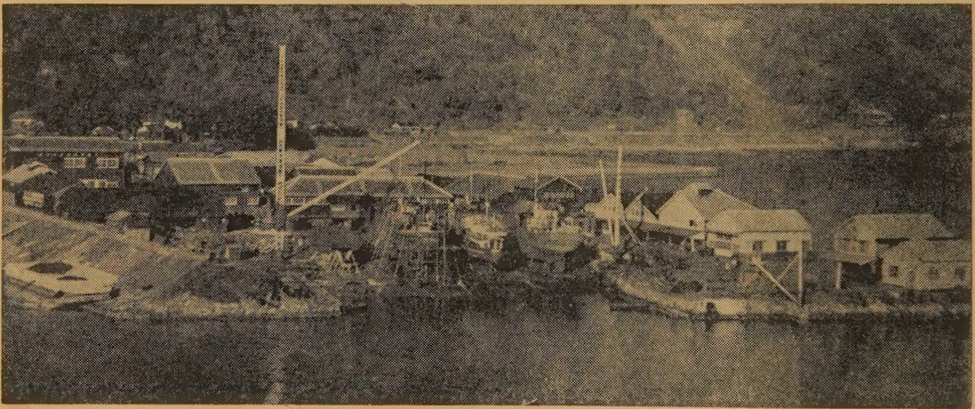
取締役社長　山下知二郎

本社・工場　東京都北多摩郡狛江町和泉150　電話砧（41）（代）7171―9番
電話武蔵調布472番
東京営業所　東京都港区芝西久保桜川町9　電話芝（43）代表7373―9番
大阪出張所　大阪市北区中之島2の25（江商ビル508号室）　電話北浜（23）4553番
福岡出張所　福岡市天神町55（伊藤ビル）　電話中（4）2589・8198番

漁業　第四十号　昭和三十二年六月十日発行（毎月一回十日発行）
昭和三十一年二月二十三日　第三種郵便物認可

漁船の建造修理の御相談は


総噸数五〇〇噸
長五一米、巾一〇米。深四・五米
ドライドツク　一


長四〇米　巾七・五米（四〇〇屯）
船台に使用の場合
二条軌条式（二五〇屯）　二
四条軌条算盤式（五〇〇屯）　二
船架（船台兼用）

下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社工場　電話下田 9・10・53　武ケ浜工場　電話下田 77・242
東京事務所　港区芝田村町4の13　電話（43）2539・8655

紫綬褒章に輝やく
泉井式ラインホーラー

株式會社　泉井鉄工所
高知県室戸町